

日本赤十字社 学校評価指標 (赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン 平成27年改訂版)

施設名	諏訪赤十字看護専門学校
評価日	2020年3月26日

【入力方法について】

- (1) 小項目の「評価の観点」に基づき、評価指標について各校の状況を点検し、該当する評価指標には「1」を、該当しない評価指標には半角数字「0」をチェック欄に入力してください。
- (2) 該当する評価指標の数に応じて、小項目ごとの4段階評価および中項目・大項目の評価点が自動的に計算されます。

注※1 入力する際は、半角数字で入力のこと。

注※2 計算式を入力しているため、一部セルにロックをかけています。着色しているセルにのみ入力すること。

大項目	中項目	小項目	評価の観点	評価指標	チェック欄	小項目評価結果	中項目評価結果	
<b>領域1 教育理念・教育目的・教育目標</b>								
1-1 教育理念・教育目的・教育目標						4	4.0	
1-1-1 教育理念・教育目的・教育目標は、定められている。								
		1-1-1-①	教育理念・教育目的は、赤十字の理念である人道を基調とした赤十字教育の特徴を示している。		○			
			教育理念・教育目的と教育目標が一貫している。		○			
			教育理念・教育目的・教育目標は、学生にとって学習の指針となるように具体的に明示している。		○			
		1-1-1-②	赤十字看護師としての質を維持・向上するための教育内容、方法、教育環境の整備について明示している。		○			
			学校運営委員・教職員は、教育理念、教育目的、教育目標、年間の教育計画等を共有し、連携している。		○			
			理念等を、学生・保護者・関連業界等に周知している。		○			
			理念等の、学生・保護者・実習施設への周知度を確認している。		○			
		1-1-1-③	理念等を学生の状況、社会のニーズから、適宜、見直している。		○			
1-1-2 教育目標は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合している。						4		
		1-1-2-②	看護に関連する行政、専門職集団等が発信する最新の情報を収集・分析している。		○			
			知識・技術・態度、人間性など赤十字看護師に求める人材要件を明確にしている。		○			
			教材の開発等にあたっては、関連業界等からの協力を得て進めている。		○			
			演習や臨地実習の実施にあたっては、関連業界等から協力を得ている。		○			

1-1-3 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいる。			4
1-1-3-①	赤十字の基本原則を指針として行動できる看護師の養成に取り組んでいる。	○	
	赤十字の救護員となる看護師の養成に取り組んでいる。	○	
	広い視野を持ち国際活動に協力できる看護師の養成に取り組んでいる。	○	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いている。			4
1-1-4-①	設置医療施設や支部との連携のもと、社会のニーズ等をふまえて将来構想を定めている。	○	
	教職員は、看護学校の将来構想を理解している。	○	
	看護学校の将来構想を学生・保護者・関係業界等に周知している。	○	

**領域2 学校運営**

2-2 運営方針			4	4.0
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めている。				
2-2-1-①	赤十字看護専門学校の単年度の運営方針を文書化するなど明確に定めている。	○		
	運営方針は理念等、教育目標、事業計画をふまえて定めている。	○		
	運営方針を教職員等に周知している。	○		
	運営方針の教職員等の周知度を確認している。	○		
2-3 事業計画			4	4.0
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めている。				
2-3-1-①	中期計画(3~5年程度)を定めている。	○		
	単年度の事業計画を定めている。	○		
	事業計画に事業目標等を明示している。	○		
	事業計画の業務分担等を明確にしている。	○		
	事業計画の執行・進捗状況及び見直しの時期・内容を明確にしている。	○		

2-4 運営組織			4	4.0
2-4-1 学校運営のための組織を整備し、適切に運営している。				
2-4-1-①	規程の教職員を配置している。	○		
	学校運営組織図を整備している。	○		
	教職員の役割を、職務分掌規程で明確にしている。	○		
2-4-1-②	学校運営のための規則・規定等を整備している。	○		
	規則・規定等は、必要に応じて適切な手続きを経て改正している。	○		
	会議の審議事項、委員構成等を明確にしている。	○		
	会議は、規定等に基づき適切に開催している。	○		
	会議の議事録(記録)は、開催毎に作成している。	○		
2-4-1-③	学校運営に携わる教職員の意欲及び資質の向上への取り組みを行っている。	○		
2-5 人事・給与制度			4	4.0
2-5-1 人事・給与に関する制度は整備されている。				
2-5-1-①	教職員の配置基準・手続きについて、規定などで明確に定め、適切に運用している。	○		
	設置医療施設との連携のもとに、必要な人材を確保している。	○		
2-5-1-②	給与支給等に関する基準・規定を整備し、適切に運用している。	○		
	昇任・昇給の基準を規定などで明確化し、適切に運用している。	○		
2-5-1-③	人事考課制度を規定等で明確化し、適切に運用している。	×		

2-6 意思決定システム			4	4.0
2-6-1 意思決定システムを整備している。				
2-6-1-①	意思決定システムは、規則・規定等で明確にしている。	○		
	意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしている。	○		
2-6-1-②	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように示している。	○		
	意思決定システムは、決定事項が周知できるように明文化されている。	○		
2-7 情報システム			4	4.0
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている。				
2-7-1-①	学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築している。	○		
	タイムリーな情報提供、意思決定に、情報システムを活用している。	○		
	学生指導に際して、規程されたルールに基づいて学生情報管理システムを活用している。	○		
2-7-1-②	データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積している。	○		
	定期的なメンテナンス及び個人情報の漏えいが起こらないように管理している。または、予防策を講じている。	○		
<b>領域3 教育活動</b>				
3-8 目標設定			4	4.0
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針を定めている。				
3-8-1-①	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めている。	○		
	教育課程の編成方針、実施方針について、教職員に周知している。	○		
	教育課程の編成方針、実施方針について、学生・保護者・関連業界等に公表している。	○		
3-8-2 教育到達レベルを明確にしている。			4	
3-8-2-②	教育到達レベルは、理念等に適合している。	○		
	学年毎の教育到達レベルを明示している。	○		

3-9 教育方法・評価等			4	3.8
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成している。				
3-9-1-①	教育課程を編成する体制は、規定等で明確にしている。	○		
	議事録を作成するなど、教育課程の編成過程を明確にしている。	○		
	基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱ、統合分野についての考え方と、各分野の具体的な内容についての考え方を明示している。	○		
	明確な考え方と根拠をもって授業科目を構成している。	○		
	修了にかかる授業時間数、単位数を明示している。	○		
3-9-1-②	授業科目について、授業計画(シラバス)を作成している。	○		
	シラバスの提示は、学生の学習への動機づけと支援になっている。	○		
	教育課程は定期的に見直し、改訂を行っている。	○		
3-9-2 教育目的・目標に沿った教育課程を実施している。			4	
3-9-2-①	授業目標の目標に照らし、適切な教育内容を実施している。	○		
	授業科目の目標に照らし、講義、演習、実習等、適切な授業形態を用いて実施している。	○		
	授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫し実施している。	○		
3-9-3 教育課程について、在校生ならびに外部の意思を反映している。			4	
3-9-3-①	教育課程の編成および改訂において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っている。	○		
	教育課程の編成及び改訂において、関連業界等の意見聴取や評価を行っている。	○		
	看護教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っている。	○		
3-9-4 キャリア教育を実施している。			3	
3-9-4-①	キャリア教育の実施にあたって、異議・指導方法等に関する方針を定めている。	×		
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫をしている。	○		
	キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っている。	○		

3-9-5 授業評価を実施している。			4	
3-9-5-①	授業評価を実施する体制を整備している。	○		
	学生に対するアンケート等の実施など、多様な評価方法を取り入れて授業評価を行っている。	○		
	評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。	○		
3-10 臨地実習			4	4.0
3-10-1 臨地実習における支援体制はある。				
3-10-1-①	臨地実習施設の責任者をはじめ、看護師長、臨地実習指導者等は、自校の教育理念・教育目的、教育目標と実習目標のつながり等について理解している。	○		
	臨地実習施設は、受け入れ学生数に応じて臨地実習指導者を適当数、配置している。	○		
	臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。	○		
3-10-1-②	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員と臨地実習指導者の役割を明確にしている。	○		
	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。	○		
3-10-1-③	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。	○		
	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導体制を整備し計画的に行っている。	○		
3-10-1-④	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。	○		
	臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析し、安全対策を講じている。	○		
	事故発生時は適切に対処し、再発防止に取り組んでいる。	○		

3-11 成績評価・単位認定等			4	4.0
3-11-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。				
3-11-1-①	成績評価の基準について、学則等に規程するなど明確にし、かつ、学生等に明示している。	○		
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいる。	○		
	入学前の既習、他の教育機関の既習の認定について、学則などに規定し、適切に運用している。	○		
3-11-2 学習成果を発表する機会がある。			4	
3-11-2-①	在校生が、ケーススタディや学習成果等を発表する機会がある。	○		
3-12 資格・免許の取得の指導体制			4	4.0
3-13-1 資格・免許取得の指導体制はあるか。				
3-13-1-①	看護師の資格・免許の取得を目指し、看護師国家試験合格に向けて、指導体制を整備している。	○		
	不合格者への卒後の指導体制を整備している。	○		
3-13 教員・教員組織			4	4.0
3-13-1 資格・要件を備えた教員を確保している。				
3-13-1-①	日本赤十字社看護専門学校規定に基づき、教員数の確保及び配置をしている。	○		
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を考慮し、配置している。	○		
	教員の養成計画・配置計画を定めている。	○		
3-13-2 教員の組織体制を整備している。			4	
3-13-2-①	教員組織における業務分担・責任体制は、規定等で明確に定めている。	○		
	教員間の連携・協力体制を構築している。	○		
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みがある。	○		

3-13-3 教員の資質向上への取り組みを行っている。			4	
3-13-3-①	教員の専門性、教授力を把握・評価している。	○		
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用している。	○		
	設置医療施設・関連業界等との連携による教員の研修に取り組んでいる。	○		
	教員の研究活動・自己啓発への支援など、教員のキャリア開発を支援している。	○		
<b>領域4 学修成果</b>				
4-14 就職率			4	4.0
4-14-1 就職率の向上が図られている。				
4-14-1-①	設置医療施設への就職率に関する目標を設定している。	○		
	設置医療施設やそれ以外の赤十字医療施設等と、就職に関し連携している。	○		
	就職率等のデータについて適切に管理し、取り組みを評価している。	○		
4-15 資格・免許の取得率			4	4.0
4-15-1 資格・免許の取得率の向上が図られている。				
4-15-1-①	資格・免許取得率に関する目標設定を行っている。	○		
	特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援に取り組んでいる。	○		
	合格実績、合格率、全国水準との比較を行っている。	○		
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っている。	○		



4-16 卒業生の社会的評価			4	4.0
4-16-1 卒業生の社会的評価を把握している。				
4-16-1-①	卒業生の就職先から情報収集する等、卒後の活動状況等を把握している。	○		
	卒業生の動向等を把握している。	○		
<b>領域5 学生支援</b>				
5-17 就職等進路			4	4.0
5-17-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備している。				
5-17-1-①	就職など進路支援のための組織体制を整備している。	○		
	担任教員と就職進路相談の担当者と連携し、支援している。	○		
	学生の就職活動の状況を学内で共有している。	○		
	設置医療施設と連携し、就職説明会等を開催している。	○		
	関連業界等と就職に関して、連携している。	○		
	履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講している。	○		
	就職に関する個別の相談に適切に応じている。	○		
5-17-2 インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している。			4	
5-17-2-①	インターンシップ等について、意義や方針を明確にしている。	○		
	インターンシップについて、医療施設の指導者との連携・協議の機会を確保している。	○		
	インターンシップ等の教育効果について確認している。	○		
5-18 休学・退学への対応			4	4.0
5-18-1 休学・退学率の低減が図られている。				
5-18-1-①	各学年における休学・退学の要因、傾向、人数を把握している。	○		
	指導経過記録を適切に保管している。	○		
	休学・退学の低減に向けた学内における相談体制がある。	○		
	休学・退学に結びつきやすい、学生の心理面、学習面での特別指導体制がある。	○		

5-19 学生相談			4	4.0
5-19-1 学生相談に関する体制は整備されている。				
5-19-1-①	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備している。	○		
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っている。	○		
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っている。	○		
	相談記録を適切に保管している。	○		
	設置医療施設等と連携している。	○		
5-20 学生生活			4	4.0
5-20-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備している。				
5-20-1-①	各種、奨学金制度を整備している。	○		
	学費の減免、分割納付制度を整備している。	×		
	全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に情報提供している。	○		
	公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応している。	○		
	全ての経済的支援制度の利用について実績を把握している。	○		

5-20-2 学生の健康管理を行う体制を整備している。			4	
5-20-2-①	学校保健計画を定めている。	○	4	
	学校医を選任している。	○		
	保健室を整備し、保健の担当者を決めている。	○		
	定期健康診断を実施して記録を保管している。	○		
	有所見者の再健診について適切に対応している。	○		
	心身の健康相談に対応する体制がある。	○		
	設置医療施設等との連携はある。	○		
5-20-3 学生寮の設置などの生活支援体制を整備している。 ※学生寮を持つ学校のみ評価			4	
5-20-3-①	遠隔地から就学する学生のための寮などを整備している。	○	4	
	学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっている。	○		
	学生寮の数、利用人数、充足状況は、明確になっている。	○		
5-20-4 自治会活動等に対する支援体制を整備している。			4	
5-20-4-①	自治会活動等、学生の活動状況を把握している。	○	4	
	活動状況に応じて、必要な支援を行っている。	○		
	活動実績を把握している。	○		
5-21 保護者との連携			4	4.0
5-21-1 保護者との連携体制を構築している。			4	4.0
5-21-1-①	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っている。	○		
	個別面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存している。	○		
	学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携している。	○		
	緊急時、保護者との連絡体制を整えている。	○		

5-22 卒業生・社会人			4	4.0
5-22-1 卒業生への支援体制を整備している。				
5-22-1-①	卒業生に施設、設備を提供している。	○		
	再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応している。	○		
	同窓会を組織し、活動状況を把握している。	○		
5-22-2 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備している。			4	
5-22-2-①	社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定している。	○		
	社会人経験者に考慮し、公的支援制度も含めた経済的支援制度を活用している。	○		
	社会人経験者に対し、就職等進路相談において個別相談を実施している。	○		
<b>領域6 教育環境</b>				
6-23 施設・設備等			4	4.0
6-23-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備している。				
6-23-1-①	施設・設備・機器類などは設置基準、関係法令に適合しかつ、充実している。	○		
	図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備している。	○		
	図書室の図書は専門分野に応じ充実している。	○		
	学生の休憩・食事のためのスペースを確保している。	○		
	施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいる。	×		
	手洗い設備等学校施設内の衛生管理を徹底している。	○		
	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修などについて適切に対応している。	○		
	施設の改善・改修、設備の更新の計画を策定し、適切に実施している。	○		

6-24 防災・安全管理			4	4.0
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用している。				
6-24-1-①	学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。	○		
	施設・設備の耐震化に対応している。	○		
	消防設備等の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応している。	○		
	防災(消防)訓練を定期的に行い、記録を保管している。	○		
	備品の転倒防止など安全管理を徹底している。	×		
	教職員・学生に防災研修・教育を行っている。	○		
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用している。			4	
6-24-2-①	学校安全計画を策定している。	○		
	学生の生命と学校財産を守るための防犯体制を整備し、適切に運用している。	○		
	授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用している。	○		
	安全管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応している。	○		
	担当教員の明確化など、海外研修時等の安全管理体制を整備している。	○		
<b>領域7 学生の募集と受け入れ</b>				
7-25 学生募集活動			4	4.0
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいる。				
7-25-1-①	高等学校等における進学説明会に参加し、教育活動等の情報提供を行っている。	○		
	高等学校等の教職員に対して、教育活動等を説明する機会を設けている。	○		
	高等学校等の教員又は保護者向けの学校案内などを作成している。	○		

7-25-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っている。			4	
7-25-2-①	入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始している。	○		
	志願者等からの入学相談に適切に対応している。	○		
7-25-2-②	学校案内などにおいて特徴ある教育活動、学習成果等について正確にわかりやすく紹介している。	○		
	広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備している。	○		
7-25-2-③	体験入学、オープンキャンパス等の実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫などを行っている。	○		
	志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取り入れている。	○		
7-26 入学選考			2	3.0
7-26-1 入学選考基準を明確にし、適切に運用している。				
7-26-1-①	入学選考基準、方法は、規定等で明確に定め、適切に運用している。	○		
	入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備している。	×		
7-26-2 入学選考に関する実態を把握し、授業改善等に活用している。			4	
7-26-2-①	合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理している。	○		
	入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応している。	○		
	応募者数・入学者数の予測数値を算出している。	○		
	財務等の計画数値と応募者数の予測値などとの整合性を図っている。	○		
7-27 学納金			4	4.0
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定している。				
7-27-1-①	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている。	○		
	学納金の水準を把握している。	○		
	学納金等徴収する金額は、すべて明示している。	○		
7-27-2 入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っている。			4	
7-27-2-②	文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取り扱いに対して募集要項などに明示し、適切に取り扱っている。	○		

領域8 財務					
8-28 財務基盤				4	4.0
8-28-1 学校運営の中長期的な財務基盤は安定している。					
8-28-1-①	応募者数・入学者数および定員充足率の推移を把握している。	○			
8-28-1-②	学校経営における財源の確保について、支部、設置医療施設、看護学校の三者で協議し、運営会議等で整備している。	○			
	財源の用途について、教職員が効果的な運用を検討している。	○			
	学生納付金収益、補助金(国・県・市・その他)、救護看護師養成経費(本社・支部設置病院医療施設)等の財源を活用している。	○			
8-28-2 学校運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っている。				4	
8-28-2-①	収支の状況について、定期的に把握している。	○			
	コスト管理を適切に行っている。	○			
	教育研究費比率、人件費比率は、適切な数値になっている。	○			
	改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定している。	○			
8-29 予算・収支計画				4	4.0
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定している。					
8-29-1-①	予算編成に際して、教育目標、中期目標、事業計画等と整合性を図っている。	○			
	教師会議、学校運営会議で年間の学校運営に関する予算案を立案、検討している。	○			
8-29-2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っている。				4	
8-29-2-①	予算の執行計画を策定している。	○			
	予算と決算に大きな乖離を生じていない。	○			
	予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っている。	○			
8-29-2-②	設置医療施設の予算規程、経理規程に沿って運用している。	○			
	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど、適切な会計処理を行っている。	○			

8-30 監査			4	4.0
8-30-1 財務について適切に会計監査を実施している。				
	会計監査について明文化されている。	○		
8-30-1-①	会計監査人により、会計監査報告がなされている。	○		
	監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。	○		
8-31 財務情報の公開			4	4.0
8-31-1 財務情報公開の体制を整備し、適切に運用している。				
8-31-1-①	財務情報について、在学生その他の利害関係人から請求があった場合、閲覧に供する書類が整っている。	○		
<b>領域9 法令等の遵守</b>				
9-32 関係法令、設置基準等の遵守			4	4.0
9-32-1 法令、専修学校設置基準等を遵守し、適切な学校運営を行っている。				
	関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うと共に、必要な諸届等を適切に行っている。	○		
	学校運営に必要な規則・規定等を整備し、適切に運用している。	○		
9-32-1-①	ハラスメントの防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用している。	○		
	教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置している。	○		
	教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する研修・教育を行っている。	○		
9-33 個人情報保護			4	4.0
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施している。				
9-33-1-①	個人情報保護に関する取扱い方針・規定を定め、適切に運用している。	○		
	大量の個人データを蓄積した電磁記録の取り扱いに関して、規定を定め、適切に運用している。	○		
9-33-1-②	ソーシャルメディアの適正利用に関する規定を定め、適切に運用する。	○		
9-33-1-③	学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏洩等の防止策を講じている。	○		
9-33-1-④	教職員・学生に対して、ソーシャルメディアの適正利用や個人情報管理に関する啓発及び教育を実施している。	○		



9-34 学校評価			4	4.0
9-34-1 自己評価の実施と問題点の改善に努めている。				
9-34-1-①	実施に関し、規定等を整備し実施している。	○		
	実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に取り組んでいる。	○		
9-34-1-②	評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいる。	○		
9-34-2 自己評価結果を公開している。			4	
9-34-2-①	評価結果を報告書にまとめている。	○		
	評価結果をホームページに掲載する等、広く社会に公表している。	○		
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っている。			4	
9-34-3-①	実施に関し、規定等を整備し実施している。	○		
	実施のための組織体制を整備している。	○		
	設置課程・学科の関連業界等から委員を適切に選任している。	○		
9-34-3-②	評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいる。	○		
9-34-4 学校関係者評価を公表している。			4	
9-34-4-①	評価結果を報告書に取りまとめている。	○		
	評価結果をホームページに掲載する等、広く社会に公表している。	○		
9-35 教育情報の公開			4	4.0
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っている。				
9-35-1-①	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を、積極的に公表している。	○		
	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を、学生・保護者・関連業界等、広く社会に公開している。	○		

<b>領域10 社会貢献・地域貢献</b>					
10-36 社会貢献・地域貢献				4	4.0
10-36-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。					
10-36-1-①	地域との連携に関する方針等を明確にしている。	○			
	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。	○			
10-36-1-②	学校から地域社会へ、教員の派遣や学校教育に関する活動を行っている。	○			
	学校施設・設備等を関連業界・卒業生等に開放している。	○			
10-36-1-③	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っている。	○			
	教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修・教育に取り組んでいる。	○			
10-37 ボランティア活動				4	4.0
10-37-1 学生のボランティア活動を推奨し、具体的な活動支援を行っている。					
10-37-1-①	ボランティア活動への参加を、学校として積極的に奨励している。	○			
	ボランティア活動に対して、組織的な支援体制を整備している。	○			
10-37-1-②	ボランティアの活動実績を把握している。	○			
	ボランティアの活動実績を評価している。	○			
	ボランティアの活動結果を学内で共有している。	○			
<b>領域11 国際交流</b>					
11-38 国際交流				4	4.0
11-38-1 国際的視野を広げるための教育体制が整備されている。					
11-38-1-①	教育課程において、国際的視野を広げる方針を示している。	○			
	国際的視野を広げるための、授業科目を設定や異文化に触れる活動等を行っている。	○			
	国際的視野を広げるための、自己学習に適した環境を整えている。	○			
11-38-2 海外での学習や就労を希望する者への支援体制が整備されている。				4	
11-38-2-①	海外での学習や就労を希望する学生に対応できる体制を整えている。	○			